

平成30年度
松野町一般会計当初予算
主要事業一覧表（新規・拡充分）

平成30年3月

松 野 町

目次

商工業の振興	2
産業の振興	3
移住・定住対策	5
子育て支援	8
防災・減災対策	9
生活環境の整備	13
情報通信環境の整備	14
観光交流・PR事業の推進	14
保健及び福祉の向上	16
ふるさと納税の推進	16
教育の振興	17
広域行政の推進	19

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
商工業 の振興	地域づくり調査研究・インターンシップ応援事業	新規	町における若者の就労や創業に対する支援、地域づくりへの提言のための支援を目的として、「地域づくり調査研究・インターンシップ応援事業補助金」を創設するもの。 ○予算科目：7款商工費、1項商工費、2目商工振興費 ○事業概要 (1) 県内外の大学生等で、松野町に対する地域づくりへの提言のための調査、研究に要する交通費、宿泊費負担に対する支援 (2) 虹の森公園おさかな館や森の国ホテルでのインターンシップ（就業体験）参加者に対する交通費、宿泊費負担に対する支援 ○事業費：500千円（交通費及び宿泊費の1/2補助・同一年度1人あたり補助限度額50千円） ○財源：起債（過疎債） 500千円	500	ふるさと創生課
	中小企業振興事業	継続	本町では、社会構造の変化等の影響により、中小企業者の事業の継続が難しくなっている現状を改善するため、事業資金確保の環境改善を行い、地域雇用の増加、地域資源の活用による地域活性化を目的として、中小企業振興の施策を実施するもの。 ○予算科目：7款商工費、1項商工費、2目商工振興費（町単独事業） ○事業概要 (1) 中小企業振興資金融資制度の活用促進 中小企業振興資金の活用促進のため、本融資制度の適正な運営を確保しつつ、融資対象者が制度を活用しやすい仕組みを構築している。 【制度内容】 ・ワンストップ窓口（商工会）による手続きの簡略化と審査のスピードアップ ・融資額の限度：運転資金500万円 ・融資期間：運転資金60か月 (2) 利子補給制度 【制度内容】 ・利子補給率：年1% ・保証料補給：完済時0.85%以内 ○事業費：利子補給補助金 2,500千円（財源：一般財源）	2,500	ふるさと創生課
	企業立地対策事業	継続	松野町企業誘致促進条例に基づき、(株)プロテックス・ジャパン等に対して、企業立地促進奨励金等を交付するもの。 ○予算科目：7款商工費、1項商工費、2目商工振興費 ○事業概要 (1) 企業立地雇用促進奨励金 ・奨励金：1,500千円（@500千円×宇和島市・鬼北町住民3人分） ※広域人材供給協定に基づく、居住市町からの負担金収入あり。 ・交付者：(株)プロテックス・ジャパン (2) 企業立地雇用促進奨励金関係市町負担金 ・負担金：1,000千円（@500千円×松野町住民2人分） ・交付者：源吉兆庵（※本町は宇和島市へ負担金として支出） ○財源内訳： ・企業立地雇用促進奨励金関係市町負担金 1,500千円 ・起債（過疎債） 1,000千円 計 2,500千円	2,500	ふるさと創生課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
産業の 振興	農林公社 施設整備 事業	新規	<p>生産性の高い農業の実現と安定した農山村の構築を図ることを目的として整備している、総合営農指導拠点施設（指定管理者：栲松野町農林公社）において、既存施設の老朽化等により支障をきたしているため改修・更新を行い、施設の近代化及び事業の効率化を図るもの。</p> <p>○予算科目：6款農林水産業費、1項農業費、4目担い手育成対策費</p> <p>○事業概要：・育苗施設外張り等改修工事：老朽化に伴う改修 ・育苗施設光台車購入：老朽化に伴う更新</p> <p>○事業費：8,345千円（育苗施設外張り等改修工事 5,796千円、育苗施設光台車購入費 2,549千円）</p> <p>○財源内訳：・起債（過疎債） 5,700千円 ・一般財源 2,645千円 計 8,345千円</p>	8,345	農林振興課
	観光施設 設備等整 備事業	新規	<p>平成14年にオープンした森の国ぽっぽ温泉については、平成27年度に内外装、サウナ、露天風呂や配管、足湯の移転等の大規模改修を行うとともに、併せて原油価格高騰による電気料金の価格上昇、灯油価格の高騰に対応するため、再生可能エネルギーである薪ボイラーを導入したところであるが、排ガス対策が課題となっていることから、排ガスを効率よく除去するための装置を新たに整備するもの。</p> <p>○予算科目：7款商工費、1項商工費、3目観光費</p> <p>○事業費：4,851千円（設計監理委託料 209円、工事請負費 4,642千円）</p> <p>○財源内訳：・起債（過疎債） 4,800千円 ・一般財源 51千円 計 4,851千円</p>	4,851	ふるさと 創生課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
産業の 振興	薪ストーブ等普及促進事業	新規	<p>町では、地域資源を活用した再生可能エネルギーの利活用を推進し、生活環境にやさしい町づくりを推進することを目的に、住宅や事業所、園芸用ハウスに薪ストーブ、薪ボイラーを新たに設置する者に対して、補助金を交付するもの。</p> <p>○予算科目：6款農林水産業費、2項林業費、2目林業振興費（町単独事業）</p> <p>○事業概要</p> <p>(1) 対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内に住所を有する者又は町内に事業所を有する事業者 ・ 自ら居住する町内の住宅又は町内の事業所及び町内の園芸用ハウス等に薪ストーブ等を新たに設置する者若しくは既存薪ストーブ等の更新を行う者 ・ 町税を完納している者 ・ 当該年度内に薪ストーブ等の設置を完了できる者であること <p>(2) 対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薪を主燃料として使用する薪ストーブ等であること ・ 未使用のものであること <p>○事業費：500千円（補助対象経費の1/3以内、補助金上限@100千円×5件分） ○財源：一般財源</p>	500	農林振興課
	認定農業者経営支援事業	拡充	<p>地域農業の担い手である認定農業者の経営及び規模拡大を支援するとともに、認定農業者の確保・育成を図るため、認定農業者が実施する農業施設整備・農業機械購入に係る経費に対して補助を行う制度を創設しているが、近年その要望が増加していることから予算額を拡充するもの。</p> <p>○予算科目：6款農林水産業費、1項農業費、4目担い手育成対策費</p> <p>○事業費：認定農業者経営支援事業補助金 1,800千円</p> <p>○対象者：認定農業者</p> <p>○対象事業：新規導入・既存所有の農業施設整備、農業機械購入</p> <p>○補助額：対象経費の3分1以内（1件につき、上限30万円）</p> <p>○財源：起債（過疎債）</p>	1,800	農林振興課
	やさしいトイレリフレッシュ事業	継続	<p>町内の観光施設の公衆トイレは、大半が和式トイレとなっており、整備後15年以上経過し、経年劣化がみられる。近年、トイレの洋式化を望む声が多く、子どもから高齢者、外国人等安心して、快適に利用できるようトイレの洋式化を行い、観光地のイメージアップを図るもの。</p> <p>○予算科目：7款商工費、1項商工費、3目観光費</p> <p>○改修箇所：・滑床アウトドアセンター 4か所 ・滑床駐車場（万年荘上） 4か所</p> <p>・滑床駐車場（万年荘下） 3か所 ・滑床キャンプ場 3か所 <u>計14か所</u></p> <p>※実施箇所数：・H28：おさかな館フードコート外6か所</p> <p>・H29：虹の森公園レストラン外13か所</p> <p>○事業費：工事請負費 3,863千円</p> <p>○財源：観光産業振興基金</p>	3,863	ふるさと創生課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
移住・定住対策	地域おこし協力隊事業	拡充	<p>山間の町である本町では、桃・柚子・梅・栗・茶・水稻等の農業が基幹産業であり、特に桃は県内有数の産地となっているが、近年農家の高齢化や担い手不足が深刻な問題となっており、ブランド化していた桃の生産量は年々減少傾向にある。また今後、地域の活力を維持するためには、担い手となる人材の確保が重要であり、移住定住に関する一貫性のある積極的な支援を図ることにより、各種人口減少対策を推進する。</p> <p>その一環として町では、地域の活力維持と地域の魅力の再発見につなげるため、平成26年度に地域おこし協力隊を導入している。</p> <p>現在、農業振興部門では、3名体制により特産品である桃を中心とした本町の農業再生事業を展開しており、観光振興部門においても、3名体制で観光資源のネットワーク化や滑床アウトドアセンターの運営等、町内の観光振興に従事し地域活性化を図っているところである。</p> <p>30年度においては、教育振興や地域固有の文化資源の活用を切り口として、地域課題の解決を目指す教育文化のまちづくり事業に、新たに2名の地域おこし協力隊の採用を予定している。</p> <p>【農業振興】 ○予算科目 : 6款農林水産業費、1項農業費、4目担い手育成対策費（町単独事業） ○事業費 : 17,799千円（報酬8,558千円、活動費9,241千円） ○協力隊員 : 4人（H29：3人→H30：4人・+1人） ○活動概要 : 町、(株)松野町農林公社、町民、関係団体等と連携し、次の活動を行う。 桃再生事業、特産品ブランド化事業、アグリレスキュー事業、地域住民とともに地域協力活動を展開</p> <p>○雇用期間 : H30.4.1～H31.3.31（※最長3年間）</p> <p>【観光振興】 ○予算科目 : 7款商工費、1項商工費、3目観光費（町単独事業） ○事業費 : 17,040千円（報酬7,968千円、活動費9,072千円） ○協力隊員 : 4人（H29：3人→H30：4人・+1人） ○活動概要 : 地域資源の掘り起こし、観光資源のネットワーク化、観光商品造成・販売、滑床アウトドアセンター運営、地域住民とともに地域協力活動を展開</p> <p>○雇用期間 : H30.4.1～H31.3.31（※最長3年間）</p> <p>【教育・文化振興】 ○予算科目 : 10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費（町単独事業） 10款教育費、4項社会教育費、8目不器男記念館費（町単独事業） ○事業費 : 8,004千円（報酬3,984千円、活動費4,020千円） ○協力隊員 : 2人（H29：0人→H30：2人・+2人） ○活動概要 : 芝不器男記念館の新しい管理・運営の検討、所蔵する資料を活用した情報発信や魅力・価値の向上、地域住民とともに地域協力活動を展開</p> <p>○雇用期間 : H30.4.1～H31.3.31（※最長3年間）</p>	42,843	ふると創生課・農林振興課・教育課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
移住・ 定住対 策	ひとり親 世帯移住 プロジェ クト事業	新規	<p>都会で暮らすひとり親世帯が、田舎で子育てしやすい環境を作り上げ、人口減少と人手不足の解消を図るため、対象者に対して補助金を交付するもの。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、7目企画費</p> <p>○事業概要</p> <p>(1) 対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生以下の子どもがいるひとり親世帯の世帯主（男女問わず） ・ 町が求める人材（看護師、准看護師、介護施設等で介護業務に就労を希望する者、町内の観光施設に就労を希望する者） ・ 町外からUJIターン ・ 町内で就労 ・ 町内地域活動に積極的に参加することを確約するもの <p>(2) 対象経費（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住体験旅費 ・ 引越し費用 ・ 新生活補助金 ・ 婚活補助金 <p>○事業費：2,793千円（旅費318千円、印刷製本費100千円、ひとり親世帯移住プロジェクト補助金2,375千円）</p> <p>○財源内訳：・新ふるさとづくり総合支援事業費補助金（県補助金） 1,396千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起債（過疎債） 1,300千円 ・ 一般財源 97千円 <hr/> <p style="text-align: right;">計 2,793千円</p>	2,793	ふるさと 創生課
	移住・定 住促進事 業	継続	<p>移住に必要な住宅・就職・就農、さらには婚活等の情報を取りまとめ、移住に関しワンストップでトータルコーディネートする専門スタッフ1名を設置し、移住希望者の対応、空き家バンクの運営等を行うとともに、移住関連イベント等へ参加し、相談ブースの出張や移住希望者等に対する情報発信等を実施するもの。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、7目企画費（町単独事業）</p> <p>○事業費：4,272千円（報酬 1,295千円、旅費2,004千円、需用費170千円、通信運搬費60千円、自動車借上料324千円、会場借上料269千円、負担金150千円）</p>	4,272	ふるさと 創生課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
移住・ 定住対 策	移住者住 宅改修支 援事業	継続	<p>自らが移住するために空き住宅の改修等を行う県外からの移住者（働き手世帯及び子育て世帯限定）に対し、住宅改修費及び家財道具等の処分費を補助するもの。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、7目企画費</p> <p>○事業概要：町は改修費の2/3を補助金として移住者へ交付し、県は町が交付する町補助金の1/2を町へ交付する。 【※実質負担割合：県1/3、町1/3、移住者1/3】</p> <p>(1) 住宅改修費（子育て世帯1件当たり最大） 6,000千円＝県2,000千円＋町2,000千円＋移住者2,000千円</p> <p>(2) 家財道具の搬出等（1件当たり最大） 600千円＝県200千円＋町200千円＋移住者200千円</p> <p>○事業費：移住者住宅改修支援事業費補助金 4,400千円</p> <p>○財源内訳：・移住者住宅改修支援事業費補助金（県補助金） 2,200千円 ・一般財源 2,200千円 計 4,400千円</p>	4,400	ふるさと 創生課
	おためし 移住宿泊 事業	継続	<p>移住希望者が一定期間、町内の農家民宿等で移住体験ができる機会を提供し、移住の具体的なイメージを実感したうえで移住することにより、将来的に定住へ繋げることを目的に、移住希望者に対して宿泊費の一部補助を行うもの。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、7目企画費（町単独事業）</p> <p>○事業概要：移住者希望者自己負担額 おためし移住1泊1,000円／人・小学生以下無料 補助額 ・大人 4,000円×20日×2人×5件＝800千円 ・小学生以下3,000円×20日×2人×5件＝600千円</p> <p>○事業費：おためし移住宿泊費補助金 1,400千円（財源：一般財源）</p>	1,400	ふるさと 創生課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
移住・ 定住対 策	定住促進 事業	継続	<p>過疎化・少子高齢化が進行する中、定住の促進により地域の活性化を図り、もって町民の福祉の増進に寄与することを目的として、次の奨励措置を行う。</p> <p>また、移住・定住促進対策の一環として、住宅の増改築やリフォーム工事を行う者に対し、住環境整備を推進するとともに、地域経済の活性化に寄与することを目的として、次の祝金等を交付する。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、7目企画費</p> <p>○事業費</p> <p>(1) 結婚祝金 ・1件当たり 現金100千円×10件分 =1,000千円</p> <p>(2) 出産祝金 ・第1～2子：現金 100千円×10件 =1,000千円 ・第3子：現金 500千円×3件 =1,500千円 ・第4子：現金 700千円×2件 =1,400千円 ・第5子以上：現金1,000千円×1件 =1,000千円 小計 4,900千円</p> <p>(3) 定住住宅建築奨励金 ・1件当たり 現金1,000千円×3件分 =3,000千円</p> <p>(4) 住宅リフォーム補助金 ・1件当たり 200千円（補助金上限）×15戸=3,000千円</p> <p>○財 源：起債（過疎債）</p>	11,900	ふるさと 創生課
子育て 支援	愛顔の子 育て応援 事業	継続	<p>子ども子育て支援の一環として、第1子から出生時に約1年分の紙おむつが購入できる券（1,000円×50枚綴り）を交付し、保護者の経済的な負担軽減及び少子化対策の充実を図るもの。</p> <p>○予算科目：3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費</p> <p>○事業概要：県内企業の製品を在住市町内等の店舗で購入するしくみとし、月締めで事業所からの請求により、各市町が事業所へ支払うもの。</p> <p>○事業費：1,626千円（消耗品費 6千円、乳幼児用紙おむつ券交付事業費補助金 1,620千円）</p> <p>○財源内訳： ・愛顔の子育て応援事業費補助金（県補助金） 570千円 ・起債（過疎債） 1,000千円 ・一般財源 56千円 計 1,626千円</p>	1,626	町民課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
防災・減災対策	庁舎建設事業	新規	<p>昭和36年に竣工した本庁舎は、経年劣化による亀裂や雨漏りが見受けられ、耐震診断については、耐震性能が法定値以下の部分があり、健全とは言い難い耐震性能グレードCランクに判定され、大規模地震発生時には倒壊の恐れがある。地震直後の使用は難しいとの結果を踏まえ、庁舎の改築を行うこととしており、30年度は基本設計を予定している。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、17目庁舎建設費</p> <p>○事業費：11,650千円（旅費200千円、消耗品費50千円、基本設計委託料11,400千円）</p> <p>○財源内訳：・庁舎建設基金繰入金 11,400千円 ・一般財源 250千円 計 11,650千円</p> <p>【庁舎建設スケジュール】 ・平成30年度～平成31年度：基本設計・実施設計 ・平成32年度：本工事（解体・建設）</p> <p>※庁舎建設基金の設置（※29年度末積立額見込：280,630千円） 25年度に新庁舎建設に必要な財源確保のため、庁舎建設基金を設置。積立期間は25年度から29年度までの5年間とし、各年度の積立額は35,000千円を基本としている。（※25・27・28年度は、2年分の70,000千円を積立。）</p> <p>※庁舎の延床面積は2,000㎡から2,500㎡程度を想定しているが、具体的な規模、構造等は基本設計において検討。</p>	11,650	総務課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
防災・ 減災対策	ため池整備 事業	新規	<p>町内吉野の梁瀬地区には、ため池が4か所あり、古くから大切な農業用水の水源として利用され、ため池への依存度が高い地域となっている。しかしながら、老朽化や今後発生が予測される東南海・南海トラフ地震等による、ため池の決壊等の災害が危惧されている。</p> <p>なかでも梁瀬下池は老朽化が著しく、早急な改修が必要となっていることから、ため池災害から地域住民の生命、身体及び財産を守り、梁瀬地区の防災力向上を図るため、ため池改修事業を実施するもの。</p> <p>また、豊岡地区のボオズ池、蔵生地区の真土上池周辺地域における、防災・減災対策の一環として、ため池災害から地域住民の生命、身体及び財産を守るとともに、災害発生時における避難活動の支援等、被害軽減を図ることを目的としてため池ハザードマップを作成し、地区住民に配布する。</p> <p>○予算科目：6款農林水産業費、1項農業費、5目農地費 ○事業費：15,020千円（ため池ハザードマップ作成委託料3,800千円、ため池等整備事業費負担金11,220千円） ○財源内訳：・農村地域防災減災事業費補助金（国庫補助金） 3,800千円 起債（過疎債） 9,500千円 ・ため池等整備事業費分担金 1,683千円 ・一般財源 37千円 計 15,020千円</p>	15,020	農林振興課
	橋梁修繕・舗装 修繕事業	継続	<p>橋梁長寿命化改修計画及び舗装修繕計画に基づき、計画的に老朽化した橋梁及び道路舗装の修繕を実施するとともに、防災・安全対策として、町道の法面・盛土・擁壁等の点検を実施する。</p> <p>○予算科目：8款土木費、2項道路橋梁費、3目道路新設改良費</p> <p>○事業概要：・橋梁修繕事業 5橋 ・舗装修繕事業 5路線 ・法面对策事業 1路線</p> <p>○事業費：83,500千円（橋梁修繕調査設計委託料16,000千円、法面对策測量設計委託料3,000千円、法面・盛土擁壁等点検委託料5,000千円、工事請負費57,500千円、用地購入費1,000千円、物件移転補償費1,000千円）</p> <p>○財源内訳：・防災・安全社会資本整備交付金（国庫補助金） 51,330千円 ・起債（過疎債） 32,000千円 ・一般財源 170千円 計 83,500千円</p>	83,500	建設環境課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
防災・ 減災対策	消防積載車更新事業	新規	<p>消防団第2分団第3部（目黒）の消防積載車について、整備から20年が経過したため老朽化に伴い更新するもの。</p> <p>○予算科目：9款消防費、1項消防費、2目消防施設費</p> <p>○事業概要：消防積載車1台及び付属品1式</p> <p>○事業費：消防積載車購入費及び諸経費 5,387千円</p> <p>○財源内訳：・起債（過疎債） 5,300千円 ・一般財源 87千円 計 5,387千円</p>	5,387	防災安全課
	小型動力ポンプ更新事業	新規	<p>消防団第1分団第2部（延野々）の小型動力ポンプについて、整備から20年経過したため老朽化に伴い更新するもの。</p> <p>○予算科目：9款消防費、1項消防費、2目消防施設費</p> <p>○事業概要：小型動力ポンプ1台及び付属品1式</p> <p>○事業費：小型動力ポンプ購入費 2,019千円</p> <p>○財源内訳：・起債（過疎債） 2,000千円 ・一般財源 19千円 計 2,019千円</p>	2,019	防災安全課
	空家再生等推進事業	拡充	<p>安全・安心な住環境づくりを推進するため、町内の老朽化した危険な空き家住居の除去を行う者に対し、除去費の一部補助による支援を行う。</p> <p>○予算科目：8款土木費、4項住宅費、1目住宅管理費</p> <p>○事業費：4,000千円（上限@800千円×5戸） 【※前年度比+2,400千円・+150%】</p> <p>○補助要件 (1) 構造の腐朽又は破損が著しく危険性が高いもの (2) 建物が2戸以上立ち並んでいる道路の沿道にあること (3) 倒壊すれば前面の道路を塞ぎ、避難等に支障をきたす恐れがあるもの 等</p> <p>○財源内訳：・社会資本整備総合交付金（国庫補助金） 2,000千円 ・特定老朽危険空家等除却促進事業費補助金（県補助金） 1,000千円 ・一般財源 1,000千円 計 4,000千円</p>	4,000	建設環境課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
防災・減災対策	防災対策事業	新規	<p>大規模災害発生時には、行政や消防防災関係機関の活動能力が著しく低下することが想定される中、本町では自助・共助を基本に、防災士をはじめ自主防災組織を中心に各種訓練等を実施し、安全で安心なまちづくりを推進している。 30年度においては防災フェア等の防災訓練や指定避難所用備蓄物資の補充や防災資機材の購入を図るもの。</p> <p>○予算科目：9款消防費、1項消防費、4目災害対策費 ○事業概要</p> <p>(1) 防災フェアの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的：各種展示、映像及び体験等を通じて、地震、風水害、火災などの災害について認識を深め、災害に対する心構え、防災知識の普及、意識の高揚を図り、災害に対する備えの充実強化を目指し開催するもの。 ・内容：消火訓練等体験型の訓練、消防・警察車両等の展示、防災グッズの展示 外 ・事業費：65千円（消耗品費50千円、食糧費15千円） ※時期・場所は未定 <p>(2) 備蓄物資の補充・防災資機材の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄物資：調理不用ごはん、パン等（300食）、保存水（720本）、ダンボール間仕切り（150セット） ダンボールベット（100セット）、毛布（199枚）、カセットコンロ（2台） ・資機材：誘導標識、備蓄倉庫（森の国ドーム・スポーツ交流センター） 発電機、投光器（西小学校 松丸保育園） ・事業費：5,867千円（消耗品費4,040千円、備品購入費1,827千円） <p>○財源内訳：・起債（過疎債） 5,800千円 ・一般財源 132千円 計 5,932千円</p>	5,932	防災安全課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
生活環境の整備	道路新設改良事業	新規継続	<p>地域住民の交通の安全、生活福祉の向上及び生活環境の整備を図るため、次の道路改良工事を行うとともに、災害により補修が必要となっている、吉野地区葛川沈下橋の補修工事を実施する。</p> <p>○予算科目：8款土木費、2項道路橋梁費、3目道路新設改良費</p> <p>○事業概要</p> <p>(1) 町道葛川富岡線改良事業費（※継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要：L=50m、W=3.0(4.0) m ・計画期間：H23～H30 ・事業費：20,550千円（事務費550千円、工事請負費20,000千円） ・財源内訳： <ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備総合交付金（国庫補助金） 11,800千円 ・起債（辺地債） 8,700千円 ・一般財源 <u>50千円</u> 計 20,550千円 <p>(2) 町道延行線改良事業費（※継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要：L=50m、W=3.0(4.0) m ・計画期間：平成29年度～平成32年度 ・事業費：20,498千円（測量設計委託料498千円、工事請負費18,000千円、用地購入費1,000千円、物件移転補償費1,000千円） ・財源内訳： <ul style="list-style-type: none"> ・起債（過疎債） 20,400千円 ・一般財源 <u>98千円</u> 計 20,498千円 <p>(3) 葛川沈下橋補修事業費（町単独事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費：3,398千円（工事請負費） 	44,446	建設環境課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
情報通信環境の整備	ホームページマルチデバイス対応等事業	新規	<p>町ホームページをスマートフォン対応へリニューアルし、利便性の向上を図るとともに、第4次LGWAN整備計画に基づき、番号制度等の運用に必要なセキュリティ対策等を行うもの。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、13目電算管理費（町単独事業）</p> <p>○事業費</p> <p>(1) ホームページマルチデバイス対応委託料 1,167千円 ・事業内容：町ホームページをスマートフォン対応へリニューアルするもの。</p> <p>(2) 第4次LGWAN整備計画機器更新等事業 1,566千円 ・事業内容：国の第4次LGWAN整備計画に基づき機器改修等を行うもの。 ・事業費・第4次総合行政ネットワークLGWAN機器設定委託料810千円 ・第4次総合行政ネットワークLGWAN機器購入費 756千円</p> <p>(3) 総合行政システム元号改正対応委託料 2,454千円 ・事業内容：平成31年度の元号改正に向け、総合行政システムの設定変更を行うもの。</p>	5,187	総務課
観光交流・PR事業の推進	森の国観光交流促進プログラム事業	継続	<p>地域住民が主体となって実施する、観光交流事業などの地域振興に関わる事業に対し補助金を交付するもの。</p> <p>○予算科目：7款商工費、1項商工費、3目観光費</p> <p>○対象事業：・町の魅力を高め、地域活性化に資するもので、継続性が見込まれるもの。 ・過去に同補助金、または同一事業について他の補助制度による補助金の交付を受けていないもの。</p> <p>○対象者：町内に所在地を置く町長が認めた団体または法人</p> <p>○限度額：一事業実施主体あたり 250千円</p> <p>○事業費：森の国観光交流促進プログラム事業補助金 1,500千円（@250千円×6件）</p> <p>○財源：起債（過疎債）</p>	1,500	ふるさと創生課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
観光交流・PR事業の推進	森の国誘客促進事業	継続	<p>町外からの誘客を促進するため、旅行会社が造成する募集型企画旅行及び受注型企画旅行の経費の一部に対して、予算の範囲内で補助金を交付するもの。</p> <p>○予算科目：7款商工費、1項商工費、3目観光費</p> <p>○助成要件</p> <p>(1) 発地は町外であること。</p> <p>(2) 虹の森公園若しくは森の国ホテルを含む松野町の観光施設又はイベントを2か所以上旅程に組み込むこと。</p> <p>(3) 町外からの参加者が、15名以上（実績ベース）であること。</p> <p>(4) 募集チラシ等に「松野町へ行こうよ!」と記載すること。</p> <p>(5) 「学校行事として実施する旅行」、「国・地方公共団体・公的団体が実施する会議、研修旅行」又は「宗教活動、政治活動を目的とした旅行」でないこと。</p> <p>○助成対象経費及び助成額</p> <p>(1) 対象経費：バス借用費</p> <p>(2) 助成額：バス1台あたり 50千円</p> <p>(3) 加算額：・町内で昼食をとる場合 10千円 ・町内で宿泊する場合 30千円</p> <p>(4) 上限額：バス借用費の半額</p> <p>○助成限度額：1事業所あたり 300千円</p> <p>○事業費：森の国誘客促進事業補助金 500千円</p> <p>○財源：起債（過疎債）</p>	500	ふるさと創生課
	松野四万十バイクレース開催事業	継続	<p>本町及び四万十地域には、良好な状態の未舗装の林道が多く、近年未舗装の林道を自転車で走行するオフロード競技への関心が高まっている。</p> <p>また国内外の大会でも、多くの観光客が訪れている中、本町及び四万十地域の林道を活用した「松野四万十バイクレース大会」を開催するため、実行委員会に対し補助金を交付するもの。</p> <p>○予算科目：7款商工費、1項商工費、3目観光費</p> <p>○日程：平成30年10月14日（日）※予定</p> <p>○コース：アルティメット 140km (案) アドバンスド 110km チャレンジ 40km</p> <p>○募集定員：400人</p> <p>○参加費：アルティメット 14,000円、アドバンスド 11,000円、チャレンジ 12,000円 (案) ※1人あたり参加料、早期申込は割引あり</p> <p>○事業費：松野四万十バイクレース開催費補助金 2,200千円</p> <p>○財源：新ふるさとづくり総合支援事業費補助金（県補助金）</p>	2,200	ふるさと創生課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
保健及び福祉の向上	高齢者外出支援実証事業	新規	<p>高齢者の通院や買い物などの外出を支援するため、新たな補助制度を試行的に導入し、実証事業を行うもの。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、7目企画費</p> <p>○事業概要</p> <p>(1) 補助概要：タクシーを利用する際に使用できるチケットを交付するもの。</p> <p>(2) 対象者：75歳以上の運転免許を保有していない方、または自動車を保有していない方</p> <p>(3) 利用条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人あたり500円のチケットを24枚上限（月2枚）とする＝12,000円／年間 ・ 町内タクシー業者の利用で、町内移動のみ <p>○事業費：3,083千円（消耗品費 50千円、高齢者外出支援実証事業補助金 3,033千円）</p> <p>○財源：起債（過疎債） 3,000千円 <u>一般財源</u> 83千円 3,083千円</p>	3,083	ふるさと創生課
	人工透析患者等通院交通費助成事業	継続	<p>慢性的な疾病等により、医療機関へ定期的かつ長期的に通院しなければならない重度心身障害者等に対して、通院に要する交通費の一部を助成することで、経済的負担を軽減し、もって福祉の増進を図ることを目的とするもの。</p> <p>○予算科目：3款民生費、1項社会福祉費、4目障害者福祉費（町単独事業）</p> <p>○助成対象者：次の①と②の両方に該当する方</p> <p>①松野町重度心身障害者医療費受給者証をお持ちの方</p> <p>②次のいずれかに該当する慢性的な疾病等の受給者証等をお持ちの方 「特定疾病療養受療証、自立支援医療受給者証、特定医療費（指定難病）受給者証、特定疾患医療受給者証」</p> <p>○事業費：人工透析患者等通院交通費助成金480千円（@5,000円×8人×12か月）</p>	480	保健福祉課
ふるさと納税の推進	ふるさと納税推進事業	継続	<p>生まれ育ったふるさとを応援したい、自分と関わり思い出のある地域を応援したい、という想いを形にする制度として創設されている「ふるさと納税制度」について、ふるさと納税をしていただいた方に対する返礼品の充実を図るほか、納税情報やワンストップ特例に係る納税者のマイナンバー等をシステム管理するもの。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、7目企画費</p> <p>○事業費：11,532千円（ふるさと納税謝礼 3,000千円、需用費 124千円、役務費 50千円、ふるさと納税管理システム保守委託料 162千円、ふるさと納税申込システム使用料 49千円、ふるさと納税クレジット決済システム使用料 146千円、ふるさと応援基金積立金 8,001千円）</p> <p>○財源内訳：・ふるさと応援寄附金 8,000千円 ・ふるさと応援基金預金利子 1千円 ・<u>一般財源</u> 3,531千円 計 11,532千円</p>	11,532	ふるさと創生課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
教育の 振興	外国語教育 振興事業	新規 継続	<p>新学習指導要領の改訂により、平成32年度から小学校において、5・6年では教科化、3・4年では外国語の時間が始まり、これまではなかなか身につけなかった「使える英語力」を小学校から高等教育まで一貫した指導により身につける外国語教育を行うこととしている。</p> <p>本町においては、平成30年度より、新学習指導要領の改訂を前倒して、小学校の外国語教育に取り組むほか、中学校においては積極的に教科検定の受検を推進し、外国語力の強化を図っていくこととしている。</p> <p>また、外国語教育の充実を図るうえで、教員の指導力強化や外国語教育環境の整備充実などの課題を解決するため、各種施策を展開するもの。</p> <p>○予算科目：10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費 10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費</p> <p>○事業内容</p> <p>(1) 外国語教育支援員の配置 ・概要：小学校に外国語の指導に特化した教員を支援する「外国語教育支援員」を配置し、外国語の指導力強化を図る。 ・事業費：英語教育支援委託料672千円</p> <p>(2) 外国語指導助手（ALT）の増員配置 <u>※1名→2名に増員</u> ・概要：小学校（2校）、中学校にそれぞれ専属のALTを配置する。 ・事業費：8,484千円（報酬5,600千円、社会保険料1,285千円、旅費1,074千円、消耗品費30千円、傷害保険料53千円、備品購入費298千円、負担金144千円）</p> <p>(3) 教員の指導力強化研修の実施 ・概要：長期休業中を活用した指導力強化研修の実施や英語専科教諭の英検準1級取得に向けた研修支援 ・事業費：28千円（報償費10千円、旅費18千円）</p> <p>(4) 児童生徒の検定等の積極的受験の支援【※継続】 ・概要：英語検定をはじめ、算数・数学検定、漢字検定取得による学力向上支援 ・事業費：検定手数料1,159千円（小学校検定手数料473千円、中学校検定手数料686千円）</p>	10,343	教育課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
教育の 振興	読書活動 推進事業	新規	<p>町では29年度に子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高め、生涯にわたる読書習慣を身につけるため、読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実等、一層の読書活動について取り組むべき基本的な方向性を定めるため「松野町子ども読書活動推進計画」を策定したところである。</p> <p>30年度は、その計画の具現化を図るスタートの年としての施策を各課連携のもと実施し、子供たちの健全育成や読書を切り口として、まちの課題解決につなげ、まちづくりの一助とすることを目的とし各種事業を実施する。</p> <p>○予算科目：3款民生費、2項児童福祉費、3目保育所費、10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費 10款教育費、2項小学校費、2目教育振興費、10款教育費、3項中学校費、2目教育振興費 10款教育費、4項社会教育費、4目町民センター費</p> <p>○事業内容</p> <p>(1) 就学前の子どもたちの読書推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要：保育園児を対象に、誕生日に絵本等をプレゼントし、読書習慣の形成を目指すほか、保護者を対象に読み聞かせ教室を開催する。 ・事業費：148千円（講師謝礼50千円、保育材料費98千円） <p>(2) 小・中学校図書購入費の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要：児童・生徒の読書意欲の向上を図るため、新刊購入費用を充実するもの。 ・事業費：図書購入費670千円（対前年度比+50.9%） <p>(3) 読書通帳の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要：小学生低学年を対象に、読んだ本の名前と簡単な感想がストックできる仕組みを構築し、読書意欲の向上につなげることを目的とした「読書通帳」を作成配布する。 ・事業費：印刷製本費77千円 <p>(4) 中央公民館の図書コーナーの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要：中央公民館（町民センター）ロビーに図書コーナーを設け、ロビー内で自由に本が読めるほか、貸し出しも行う。 また図書購入費についても充実を図るほか、県立図書館と連携して、貸し出し図書の充実を図る。 ・事業費：図書購入費150千円 	1,045	町民課 教育課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
広域行政の推進	宇和島圏域定住自立圏事業	新規	<p>人口減少に歯止めをかけようと、宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町の1市3町が連携し、生活に必要な環境整備を進める「定住自立圏」形成へ向け、医療や交通インフラ整備、人材育成など定住の受け皿づくりを目指し、地域活性化を図るため、「宇和島圏域定住自立圏構想」による広域的な施策を次のとおり実施するもの。</p> <p>(1) 出会いの場創出事業 ・予算科目 : 2款総務費、1項総務管理費、7目企画費 ・事業概要 : 宇和島圏域の魅力的な資源を活用するとともに、民間の感性を取り入れた婚活イベントを実施する。 ・事業費 : 出会いの場創出事業負担金100千円</p> <p>(2) 移住・定住促進事業 ・予算科目 : 2款総務費、1項総務管理費、7目企画費 ・事業概要 : 都市部での移住フェア開催に関し、愛媛県とも連携を図りながら、宇和島圏域単独での移住フェアを開催し、より可能性の高い移住希望者の獲得を図る。 ・事業費 : 155千円(報償費50千円、旅費105千円)</p> <p>(3) 手話奉仕員等養成事業 ・予算科目 : 3款民生費、1項社会福祉費、4目障害者福祉費 ・事業概要 : 意思疎通に支障のある聴覚障害者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、手話で日常生活を行うのに必要な手話表現技術を習得し、奉仕員等として活動できる人を養成するための講座を開催する。 ・事業費 : 手話奉仕員等養成事業負担金63千円</p> <p>(4) 意思疎通支援共同実施事業 ・予算科目 : 3款民生費、1項社会福祉費、4目障害者福祉費 ・事業概要 : 意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に、手話通訳・要約筆記によって、障がい者等との意思疎通を支援するために宇和島市が実施している手話通訳者及び要約筆記者派遣事業を関係市町で共同実施するもの。(現場に派遣) ・事業費 : 意思疎通支援共同実施事業負担金100千円</p> <p>(5) 適正受診啓発事業 ・予算科目 : 4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生費 ・事業概要 : 宇和島圏域の健全な医療体制を維持するため、市立宇和島病院と圏域の医療機関との機能・役割分担を周知する啓発チラシ等を作成するもの。 ・事業費 : 適正受診啓発事業負担金17千円</p>	1,459	ふるさと創生課・保健福祉課・教育課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
広域行政の推進	宇和島圏域定住自立圏事業	新規	<p>(6) 観光サイクリング推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算科目 : 7款商工費、1項商工費、3目観光費 ・事業概要 : 圏域の魅力的な観光スポットを巡るサイクリングコースを開発するとともに、サイクリストが求める施設や設備の整備を検討する。 ・事業費 : 宇和島圏域交流促進連絡協議会負担金74千円 (サイクリング) <p>(7) 宇和島圏域観光イベント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算科目 : 7款商工費、1項商工費、3目観光費 ・事業概要 : 圏域の特産品販売やステージ、体験コーナーなどを行うイベントを開催する。併せて観光情報PRも行い、各市町の連携により、効果的に観光情報の発信を行う。 ・事業費 : 宇和島圏域交流促進連絡協議会負担金322千円 (圏域イベント) <p>(8) 宇和島圏域観光情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算科目 : 7款商工費、1項商工費、3目観光費 ・事業概要 : 宇和島圏域の知名度は全国的にまだまだ低く、観光に関する情報発信が不足している。圏域の各市町が連携し、圏域の魅力的な観光資源や観光情報を戦略的、効果的に発信し、大都市圏をはじめとした県外、あるいは松山圏域などをターゲットとした旅行客の獲得を図る。 ・事業費 : 宇和島圏域交流促進連絡協議会負担金132千円 (情報発信) <p>(9) インバウンド対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算科目 : 7款商工費、1項商工費、3目観光費 ・事業概要 : 外国人観光客の受入体制のさらなる強化を図るため、宇和島圏域の飲食店のメニュー表の多言語化支援など、圏域全体で官民におけるインバウンド対策を実施する。 ・事業費 : 宇和島圏域交流促進連絡協議会負担金74千円 (インバウンド) <p>(10) 児童魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算科目 : 7款商工費、1項商工費、3目観光費 ・事業概要 : 地域の宝である子ども達に宇和島圏域の良さを伝え、誇りに思う気持ちを育てるとともに、宇和島圏域の魅力を情報発信できる子どもたち (子ども観光大使) を育てる事業を実施するもの。 ・事業費 : 児童魅力発信事業負担金100千円 <p>(11) 不登校児童生徒支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算科目 : 10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費 ・事業概要 : 宇和島市の児童生徒支援施設「宇和島市こども支援教室わかたけ」について、受入れ対象地域を本圏域まで拡大し、圏域在住の児童生徒も利用できるようにするもの。 ・事業費 : 不登校児童生徒支援事業負担金322千円 		ふるさと創生課・保健福祉課・教育課

分野	事業名	区分	事業内容	総事業費 (千円)	所管課
広域行政の推進	宇和島地区広域事務組合事業	継続	<p>宇和島市、鬼北町、愛南町、松野町の4市町で構成されている宇和島地区広域事務組合において、廃棄物処理、福祉、消防などの事業について、市町の行政区域を越えて連携・協力し、スケールメリットを生かした効率の良い行政サービスを行うもの。</p> <p>なお、30年度における本町の負担金は次のとおり。</p> <p>○予算科目：2款総務費、1項総務管理費、7目企画費</p> <p>○事業費：宇和島地区広域事務組合負担金 211,300千円（※対前年度比△47,538千円・△18.4%）</p> <p>○財源内訳：・起債（過疎債） 68,700千円 ・一般財源 142,600千円 計 211,300千円</p> <p>○主な事業（増減の主なもの）</p> <p>(1) 広見広楽荘改築事業費（施設改築工事、施工監理業務、備品購入費） 68,653千円 【前年度比+59,970千円、+690.7%・財源内訳：起債（過疎債）65,200千円、一般財源3,453千円】</p> <p>(2) 環境センター費（管理運営費） 30,818千円 【前年度比+9,493千円、+44.5%・財源：一般財源】</p> <p>(3) 近永愛児園改築事業費 2,095千円 【前年度比+1,951千円、+1,354.9%・財源：一般財源】</p> <p>(4) 城辺みしま荘空調設備改修事業費（改修工事、設計施工監理業務） 1,794千円 【皆増・財源内訳：起債（過疎債）1,500千円、一般財源294千円】</p> <p>(5) 熱回収施設等建設事業費 2,100千円 【前年度比△99,838千円、△97.9%・財源：一般財源】</p> <p>(6) 鬼北環境センター解体撤去事業費 1,637千円 【前年度比△12,438千円、△88.4%・財源：一般財源】</p> <p>(7) 汚泥再生処理センター費（管理運営費） 18,239千円 【前年度比△5,768千円、△24.0%・財源：一般財源】</p> <p>(8) 旧吉田愛生寮解体撤去事業費 【前年度比△4,193千円、皆減】</p> <p>(9) 旧津島荘解体撤去事業費 【前年度比△4,172千円・皆減】</p>	211,300	ふるさと創生課

